

# 寺 報

龍正寺

日なた 123号

御先祖様の

お喜びは

私たちの

喜びである

日 廷



<平成 30 年 8 月>

宝 龍 会  
護 持 会

# 施餓鬼大法要を開催しました



南無妙法蓮華経…



御先祖様への水向けです



特別供養の方『大いなる哉…』  
無量義経をあげます



御施餓鬼旗を持って行道が始まります。  
心を込めて、幡・水・香…



佐口上人、祖父江上人  
暑中ありがとうございます。



御万党の花作りの説明です。  
皆様ご協力お願いします。

## 御職一言 (私たちの喜び)

日本列島は猛暑日が続いています。体調管理、  
日々の熱中症対策をして下さい。

また西日本豪雨・台風12号により、大きな災害あり、心  
痛の思いです。災害の地域、被害者の方々にお見舞い  
申し上げます。災害により犠牲に召された方々の御冥福  
を申し上げます。南無妙法蓮華経。

一日も早く復興出来る事をお祈り申し上げます。

さて7月盂が終り、これから8月盂をお迎えされる  
方々御先祖の供養をして下さい。

私たちの生活は御先祖様から受け継がれてい  
ます。日々の偉せを願う事は、御先祖様の供養  
が大切です。

生活していく中で信仰は自分自身の事を願う、家  
族の事を願う事が多いと思います。願いが叶った時  
は喜び、叶わないう時は複雑な心になります。

常に御先祖様の事を思い供養に励まれていますと、

日蓮大聖人御妙判、如説修行金鈔の中に、

「吹く風 板をならさず、<sup>あめ</sup>雨 <sup>つち</sup>壤を <sup>くだ</sup>砕かず、代は <sup>よ</sup>義 <sup>の</sup>農の  
世となりて、<sup>この</sup>今世には <sup>ふ</sup>不 <sup>は</sup>祥の災難を <sup>拂</sup>拂い」

お教えをうけておられます。

我欲を捨て、無心になつて供養に励まれる事は御  
先祖様の喜心であり、我々の喜心でもあります。

お盆は一年に一度、仏様の世界から私たちの所にお歸  
えりになられる時です、家族でお迎えし供養をいたし  
お送りして下さい。

私たちの偉せは、御先祖様に心から合掌する  
事です。



# 「予知」

時々... “人間の一生は生まれ来る時から決まっている?”  
のかはあ?と思う事が有り得る。  
多少の軌道修正は本人の努力や経験により差が  
出してくるものの... 人生の青写真は神様が決められて  
“頑張っ来てほさい!” のような言葉で今世に生まれ  
多くの苦難や経験を積む事で、何かの意味がそこに  
有るのだろうか...? と考える事が有り得る。

私が10才の時だったので... もう40年前の出来事ですが  
父の車の助手席に乗り、ふと前方の車を見ました...  
子供ながらに車のナンバープレートに書かれた町の名前を  
見ていました...  
私の住む広島は主に「広島」「山口」「福山」が多く  
たまたま「岡山」「大阪」がありました...  
その時、子供の私の目に入ってきたのは「尾張小牧」でした。  
当時は牛ケタの漢字も珍しかったのか... 父に「どこの町?」  
と聞きまして... 父は「名古屋じゃ!!」と応えまして。  
その時の光景と会話は鮮明に覚えています...  
後年私が愛知に移住した時も父は覚えていて  
「お前はあの車の町だけは南に来てたあ〜」と  
感慨深く私に語っていた事を思い出します。  
それ私が26才で今の小牧市に来た時も...  
まだ来て一週間も経ってはいない頃に、

自転車で乗り、住んでいたアパートからアルバイト先に  
向っている途中に... 左の前方に大きなビルが  
見えました。当然に私にはそれが何なのかさえも  
解らずにいると、頭の中に「ここがいつか死ぬ」と  
直感しました... そのビルに自転車で行ってみると、  
そこは「小奴市民病院」でした。  
そこで私は誰に問う訳もなく、独りバの中で  
「それはいつ？」と自問してみると、頭の中に数字が  
見えてきた。「2046」とだけ解りました...  
「年号？」「私が78歳の時か...？」とフツフツ言っていたのを  
覚えていま。まだ時は1994年の頃の話です。  
もしかしたら単なる笑事かも知れない、未来の事だから  
何を言っても信憑性もありませんが...

そこでもうひとつ、二度目の結婚もする今の妻と出会った時、  
会社の取引先にいた女性で、商談に行くと当時の妻は  
茶髪(金髪に近い)で、私が最も嫌なタイプでした...  
しかしその商談中にふと妻の横顔を見た時、  
「あ、この顔の骨と同じ墓に入る事になる！」と直感しました。  
その二年後に付き合い始め、結婚する事になりました  
それから13年の月日が流れ、昨年末には離別を  
思案する大きな出来事がありました。その時には  
佐口と人柄には大変な尽力を頂きました。

あの時には...自分の歩んできた人生も..  
妻を選んできた判断も...その運命さえも  
悔んでしまいました。

これから先の事が全く見えず、自分だけの判断では  
どうする事も出来ず、最後は仏様に委ねる事に  
しました。

それから数ヶ月が経りました...

ある日、私が「お寺に参拝に訪れた際に

ある役員さんから「あなたに必要じゃなくって

間接的(子供達)には必要が人」

と助言を頂いた時、仏様の声かとも知れないとツカエていた  
気持ちが一瞬と消えました...

と同時に「あ〜やっほり二の人と墓まで行くのかあ〜」と  
あの時直感した事を複雑な気持ちで抱きました。

人間は歩んで行く道程に何かしらの使命の巧み  
与えられて課題の巧みものがあり... ひとつひとつの  
その課題をクリアする事で、来世に繋がって行く  
道程の巧みと不思議な気持ちに悩んでいます。

## ～ 本当の御題目 ～

今年、夏は土砂災害・命の危険を及ぼすほどの猛暑・異例な台風など自然界の異変が続々と起っています。

政界では悪質な出来事が数々問題になり、国民の信頼をどんどん失っています。

現代はまさに日蓮大聖人の「立正安国論」の末法の世ではないでしょうか。

このような時代だからこそ、私達は真実の御題目を唱えなくてはいけないと思います。

先日ある御縁から京都で「仏教を学ぶ会」「摩訶止観」に参加しました。初めての参加で緊張しながらも、日蓮大聖人の祖訓講義に学びの多い充実した時間を過ごさせていただきました。

その講義の中で、御題目は何の為に唱えているのか？

私利私欲の御題目ではなく、無常の喜びで唱え、そして毒から解脱する。御題目を唱えている事が只々有り難い。

それは、輝きの中で泉があふれているイメージであり、自分自身を

俵せにする。そして願いは、本当の幸せの副産物となる。



欲のない、人の俸せを願う御題目を唱える。そうすると  
本当の喜びは、笑いかす〜と永久に続いている。愛するもの  
が増え、好きな物か、いは、いある、そのような俸せを感じる事が  
出来る。

このような時代を 生きているからこそ、心清らかな御題目  
を唱え、人の為、誰かの為に喜んで御題目を唱えたい  
と思います。

今回“学ぶ会”に参加した事で数々の力を頂きました。

改たに気づく事も多くありました。大いなるお慈悲を  
頂きました。また是非、参加させて頂きたいと思います。

## < 8月の行事予定 >

8月13日(月) 10時より 宗祖日蓮大聖人報恩会  
鬼子女尊神  
七面大明神 ) 祈禱会  
松葉谷法難会

※ 年中予定表が変更となっております。

## < 8月住職予定 >

8月13日～15日 盆相経

8月16日～19日 身延波木井山出張

## < 8月の予定 >

8月6日(月) 各々の時間で 清掃・準備

↓  
12日(日)

